

佐賀県景気動向指数

令和7年11月28日
政策部統計分析課

1 令和7年9月の動向

- ◆ 先行指数 **37.5%** …… 3か月連続で50%を下回った。
- ◆ 一致指数 **42.9%** …… 4か月連続で50%を下回った。
- ◆ 遅行指数 **50.0%** …… 2か月振りに50%を上回った後、50%になった。

〈個別指標の動向〉

	＋ となった指標		－ となった指標		保ち合い(O)	
《先行系列》 採用系列数 8 拡張系列数 3.0 指 数 37.5	所定外労働時間数 鉱工業在庫率（生産財・逆） 新設住宅着工戸数	2か月連続 4か月振り 2か月振り	新規求人数 鉱工業生産指数（生産財） 乗用車新車登録台数 企業倒産件数（逆） 銀行貸出残高（☆）	5か月連続 5か月振り 3か月連続 4か月連続 3か月連続		
《一致系列》 採用系列数 7 拡張系列数 3.0 指 数 42.9	就職率 鉱工業出荷指数（総合） 着工建築物床面積（産業用）	2か月振り 3か月振り 3か月振り	有効求人倍率（就業地別） 鉱工業生産指数（総合） 大型店売上高（☆） 輸入総額（唐津港＋伊万里港）	8か月連続 3か月連続 2か月振り 2か月振り		
《遅行系列》 採用系列数 6 拡張系列数 3.0 指 数 50.0	常用雇用指数 陶磁器生産重量（☆） 銀行預貸率	3か月連続 2か月連続 4か月連続	雇用保険受給実人員（逆） 消費者物価指数（☆） 鉱工業在庫指数（総合）	4か月連続 3か月連続 4か月振り		

（逆）は逆サイクルを示す。

（☆）は対前年同月比で、その他はセンサス局法により季節調整を行っている。

- （注）・センサス局法X-12-ARIMAで季節調整をしている指標についてはデータを追加するたびに季節調整要因が変更されるため、
 遡及して数値が変わり変化方向が変わることがあります。
- ・鉱工業指数など一部の指標は補正を行うことから、同様に遡及して数値が変わることがあります。
 - ・有効求人倍率は、平成17年1月までは「受理地別値」を使用し、平成17年2月以降は「就業地別値」を使用しています（就業地別値は、平成17年2月分からデータが公表されているため）。また、毎年1月分公表時に新季節指数に改定されることから、遡及して数値が変わり変化方向が変わることがあります。
 - ・令和4年10月分まで先行系列の指標に用いていた「不渡手形金額」及び「手形交換金額」は、令和4年11月の電子交換所への移行に伴いデータの公表がなくなったため、令和4年11月分から、これらを除外した指標により先行指数を算出しています。なお、遡及して全期間を再計算しているため、これ以前の公表値とは数値等が異なります。
 - ・令和6年2月分公表から、「鉱工業（生産・出荷・在庫）指数」の基準年更新により、全期間で遡及して数値を変えているため、全系列（先行・一致・遅行）において、変化方向が一部変わっています。
 - ・参考値として掲載しているCI一致指数について、令和7年1月分公表から計算基準を更新したため、全期間で遡及して数値を変えています。
 - ・令和7年4月分公表から、「陶磁器生産重量」の季節調整をセンサス局法X-12-ARIMAから対前年同月比に変更し、全期間で遡及して数値を変えているため、変化方向が一部変わっています。